



どれみだより 3月

2022年3月



旭川市永山2条22丁目3番8号
 代表電話 49-7567 FAX 49-6666
 アドレス info@doremi.network
 児童発達支援・放課後等デイサービス
 どれみⅠ どれみⅡ どれみⅢ どれみⅣ どれみⅤ どれみ相談室

卒業、卒園おめでとうございます

どれみから巣立っていく高校3年生は、今年7名。それぞれの進む道も決まり、期待と不安でいっぱいではないでしょうか。

マスクを着用しての卒業式、入学式になるかと思いますが、マスクの中は笑顔で、新しい環境でコロナ対応をしながら、子どもらしくのびのびと生活ができる日が一日でも早く来ることを願っています。

誰でも経験する初めての環境、保護者様はとてご心配だと思いますが、子どもを信じて見守ってあげてください。

小・中学校入学、高校進学と成長の節目です。制服の準備、通学路の確認と何かとお忙しいとは思いますが、家族でお祝いしてください。

「どれみだより」について

当社では、月に一度「どれみだより」を配布しております。

ご利用者様へは、WebアプリのHUGを通して、また、関係機関の皆様へは、郵送にて対応しておりました。

この度ペーパーレス化の一環として、本年3月の配布をもって廃止させていただくことにいたしました。

あらたに「子育てコラム（仮称）」として、不定期ではありますが、HUGや当社ホームページへ掲載する予定です。

引き続き、ご支援賜りますようお願い申し上げます。



4月2日（土）・・・体操・カレーの日（どれみⅣ・Ⅴ）

9日（土）・・・事業所ごとクッキング

30日（土）・・・ダンス・カレーの日（どれみⅠ・Ⅱ・Ⅲ）

人生を楽しむためのあたり前の生活



4月からは、入学やクラス替えなどで環境が変わっていきます。新しい出会いで、緊張しながらも世界が広がり、多くの事を学んでいくことができます。

将来豊かな人生を歩んでいくためには、大切なことです。楽しいことばかりではなく辛い嫌な思いをすることもたくさんあるでしょう。お子さまが成長していく過程では同年齢、異年齢の友達、さらに地域や世代を超えた様々な人たちと関わりあう経験の蓄積が、将来価値観の違う人たちの中で生活していくうえで、とても必要なことです。

たとえば、小さな金魚鉢の中で育った金魚がいくら大きくなっても、屋外の池に放すと生きていくことが困難になります。親子にとって楽な生活でも将来子どもが社会にでて、楽しく生活していくためには、小さい時から「特別な生活」ではなく、年齢・環境にあった「あたりまえの生活」の積み重ね経験していく事が大切なことです。

着席して食事ができるようになったら家族で外食に出かけてみましょう。宿泊研修や修学旅行が近づいてきたら、計画的に近所の銭湯で公衆浴場のルールを身に付けていくこと、ホテルのシャワーカーテンは、浴槽の内側に入れてバスルームが水浸しにならないように使う経験、交通公共機関（バス、電車等）に、お金を払い周囲に迷惑を掛けずに乗車するなど小さな経験の積み重ねが成長へとつながっていきます。

「行ったことがある」「やったことがある」「楽しかった」「始めてじゃない」などの成功体験は、「人生を楽しむためのあたりまえの生活」を送るうえでとても重要なことです。